



蔵書点検が終わりました

「点検はまだ終わりませんか？」点検期間中、多くの人から声をかけられました。

お待たせしました！点検も無事終了し、図書館にも活気が戻ってきました。

新しい本も登場しているのでぜひ利用してください。入試を終えた3年生！今は「読書の貯金」ができるときかもしれません。そしてこれから入試を迎える3年生！気分転換も兼ねて！日わずかな時間でも、本を読むことは効果的です。時間をうまく使って、心に栄養を注入してみてください。

★2月25日(金) 3年生 貸し出し最終日

★2月28日(月)～3月2日(水) 3年生 返却期間

★3月 7日(月) 1.2年生家読(うちどく)最終提出日



地球温暖化で今後は開催が困難に？

北京で開催されている冬季オリンピック。連日、夢中になっている人も多いのではないのでしょうか。10代の選手も多く活躍していてさまざまなドラマが繰り広げられ、胸が熱くなります。

しかし、地球温暖化は年々進み、雪不足や不安定な天候がIOCをはじめ関係者を悩ませているそうです。これまでの開催地となった21都市の2月日中の平均気温は1920～50年代は0.4℃だったのが60年～90年代は3.1℃までに上昇。さらに今世紀末には7.8℃に上がる可能性が。人工雪は水や電気を大量に消費し、硬い雪質や滑りやすい斜面などでけがも多く、選手の心身への影響も気になります。温暖化の原因となる温室効果ガスの排出が減らないと、今世紀末の開催可能は21都市中、8都市にとどまるという情報もあります。持続可能なオリンピックのため、私たちにできることをこの機会に考えてみませんか？

(参考：朝日新聞／月刊ジュニアエラ3月号)

新刊情報

むきだし 兼近 大樹・著(文藝春秋)

「小さい頃から、殴って、殴られるのが普通だった。なぜ自分だけがこんな目にあうんだろう・・・でも人生は変えられる。」ケンカに明け暮れ、勉強もできなかった石山少年が人気芸人になるまでの過程を「むきだし」で描く。お笑いコンビ「EXIT」兼近の初小説。



一ノ瀬ユウナが浮いている 乙一・著(集英社)

幼なじみのユウナは17歳のときに水難事故で亡くなった。不思議なことだが、線香花火を灯すと、彼女はボクの前だけに現れてくれる。彼女に会うため、伝えたかった気持ちを抱えながら何度もボクは線香花火を灯す。しかし彼女を呼ぶことができる花火の数はだんだん少なくなってきて・・・

映画「サマーゴースト」の姉妹作。



海をわたった母子手帳 中村 安秀著(旬報社)

「自分の母子手帳を見たことがありますか？」あなたがお母さんのおなかにいたときのこと、生まれてきて「おぎあー」と泣いたときのこと、子どものときの体重や身長、成長の様子が書かれた一冊の手帳です。その母子手帳は実は日本発祥。インドネシアの農村診察で日本の母子手帳の素晴らしさを痛感した作者(医師)は、その普及のため奮闘します。(ノンフィクションです。)



図書館の書籍を使って調べ学習+チームでの発表会

2年生が「北海道地方」についての調べ学習を図書館で行っています。ネット情報に比べて書籍での調べ学習は手間がかかりますが、何よりも「信ぴょう性」があります。また一説によると、書籍で調べたことは「記憶に定着する」とも言われています。

「食べもの」「気候」「歴史」「観光」「民族」などチームごとのテーマを決め、複数の資料を読みながらじっくりと調べた後、発表会となりました。クイズ形式にしたり、質問コーナーを設けたりと活気が溢れています。

